

南京大虐殺・幸存者の証言を聞く会 in 神戸



神戸・南京をむすぶ会は今年も中国より「幸存者」(中国では幸いに生存したという意味でこの言葉をつかいます)をお迎えして証言集会を開きます。むすぶ会は、96年に「南京1937絵画展」を開催したメンバーが作った市民グループで、毎年8月には南京大虐殺の現場等を訪ねるフィールドワークを行なっています。今夏は、南京・延辺朝鮮族自治州を訪問しました。

そして、毎年12月には南京から幸存者を招いて証言集会を開催しています。

日本国内では、未だに「南京大虐殺はまぼろし」と主張する人々が、様々な方法でこうした日本軍の蛮行の事実を、歴史の闇に葬り去ろうとしています。歴史をねじ曲げ、侵略を美化する動きを許してはなりません。

今年は下記のとおり幸存者をお招きして証言集会を開催いたします。ふるってご参加ください。

証言 機関銃の集団虐殺から生き延びて 郭秀蘭さん(1932年10月8日生)

日時 2010年12月8日(水)午後6時30分

会場 神戸学生青年センターホール TEL 078-851-2760 地図参照

参加費 1000円(学生500円)

幸存者招請のための募金をお願いします。送金先・郵便振替<00930-6-310874 むすぶ会>



主催: 神戸・南京をむすぶ会

(代表/宮内陽子、副代表/門永秀次、林伯耀)

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1 神戸学生青年センター内

TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878

<http://www.ksyc.jp/nankin/> e-mail hida@ksyc.jp

後援: 神戸学生青年センター